

日 時：令和3年6月11日（金）5校時  
場 所：清水小学校1年生教室  
授業者：畑中 まどか

1 単元名 「くちばし」

2 単元・教材について

本単元は、児童が初めて出会う説明的文章である。教科書の見開きの左ページに、くちばしの絵と「これは、なんのくちばしでしょう。」という「問い」の文があり、ページをめくると、次の見開きの右ページに、鳥の写真と「これは、〇〇のくちばしです。」という「答え」の文がある。このようにクイズのような構成は子どもたちに親しみやすい。

また、文型も、児童にとって違いを比べやすく理解しやすいように工夫されている。1文は、くちばしの特徴を示して、2文は「なんのくちばしでしょう。」と問いかけている。3文は「〇〇のくちばしです。」と答えを述べて、4文は、えさをとる際のくちばしの働き、5文は、えさの順にまとめている。同様な文型が3回繰り返されており、文型に慣れやすい。文章全体を通して説明されている事柄を正しく読み取り、1年生なりに論理的思考に触れさせたい。

3 研究との関わり

- (I) - 1 単元の終末で、児童が自分の学びを発揮できるように3次に鳥のくちばしクイズ大会を位置づける。
- (II) - 2 深めの活動をすることで、クイズに必要な文章構成に気付くことができる。

4 単元の目標

◎説明的な文章の基本的な構成である、「問い」に対する「答え」を確実に読み取ることができる。また、「くちばしの形」や答えに続く「くちばしの使い方」「何を食べるか」の説明を絵や写真と照らし合わせながら正しくとらえることができる。

◎「問い」と「答え」の文章構成を生かして、他の鳥のくちばしについてのクイズを作ることができる。

単元の評価基準

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
文の中における主語と述語との関係に気づいている。(1カ)	「読むこと」において、事柄の順序などを考えながら、内容の大体を捉えている。(C1ア) 「読むこと」において、文章の中の重要な語や文を考えて選び出している。(C1ウ)	積極的に説明の文章を読み、学習課題に沿って分かったことや考えたことを伝えようとしている。 興味をもったくちばしについて、自分でも「問い」-「答え」の構成でクイズを作ろうとしている。

5 単元指導計画

次	時	単位時間の目標	評価基準	並行 読書
2	1	「くちばし」の説明文を読むことに興味をもち、学習の見通しをもつことができる。	知っている鳥について発表したり、教師のクイズを考えたりして、「くちばし」の説明文を読むことに興味をもち、学習の見通しをもつ。(学びに向かう力・人間性等)	
	2	本文を読んで、きつつき、おうむ、はちどりのくちばしについての文章が、「問い」と「答え」の構成になっていることを正しく理解することができる。	「問い」と「答え」という説明の文章構成になっていることに気付いている。(思考力・判断力・表現力)	
	3	きつつきのくちばしの特徴(「形」「使い方」「えさ」)を読み取り、動作化したり視写したりする活動を通して、「形」「使い方」「えさ」が書かれていることやその内容を正しく理解することができる。	「形」「使い方」「えさ」が書かれていることに気付いている。 きつつきのくちばしの「するどくとがった」形や「きにあなをあけます」という使い方、「むしをたべます」というえさの説明を理解している。(思考力・判断力・表現力)	
	4	おうむのくちばしの特徴(「形」「使い方」「えさ」)を読み取り、動作化したり視写したりする活動を通して、「形」「使い方」「えさ」が書かれていることやその内容を正しく理解することができる。	「形」「使い方」「えさ」が書かれていることに気付いている。 おうむのくちばしの「ふとくて、さきがまがった」形や「かいたたねのからをわります」という使い方、「なかのみをたべます」というえさの説明を理解している。(思考力・判断力・表現力)	
	5 本時	はちどりのくちばしの特徴(「形」「使い方」「えさ」)を読み取ることを通して、事柄の順序に気付き、クイズに必要な文章構成を理解することができる。	「形」「使い方」「えさ」が書かれていることに気付いている。 はちどりのくちばしの「ほそくてながくのびた」形や「はなのなかにいれます」という使い方、「はなのみつをすいます」というえさの説明を理解している。 「形」「問い」「答え」「使い方」「えさ」という文章構成になっていることに気付いている。(思考力・判断力・表現力)	
3	6	図鑑や教科書の中からクイズで出題する鳥を選んで決め、その鳥のくちばしの形や使い方、えさを調べることができる。	自分がクイズに出す鳥のくちばしの形や使い方、えさを調べ、みつけたよカードに書いている。(知識・技能)	
	7	自分が出題する鳥について調べたことをもとに絵を描き、「形」「問い」「答え」「使い方」「えさ」の文章でクイズを作ることができる。	自分が出題する鳥について調べたことをもとに、「形」「問い」「答え」「使い方」「えさ」の文章でクイズを作ることができる。(知識・技能)	
	8	自分が出題する鳥のくちばしクイズを出す練習をし、学級で鳥のくちばしクイズをする。	聞く側を考えてクイズを出す練習をしている。(知識・技能)(思考力・判断力・表現力) 自分で作ったカードを使って、「問い」「答え」の発表の仕方を工夫している。また、友達のクイズの答えを進んで考えたり、感想を言ったりしている。(学びに向かう力・人間性等)	

6 本時のねらい はちどりのくちばしの特徴(形・使い方・えさ)を読み取ることを通して、説明の内容の順序に気付き、クイズに必要な文章構成を理解することができる。

7 本時の展開

単元のきよみずガエル君 とりのくちばしクイズを出す時のポイントは何かな。

### 第3ブロック(終末)

### 第2ブロック(展開)

### 第1ブロック(導入)

#### 前時までの学習の振り返り

- ・まじつきとおつむのくちばしの秘密を振り返る。
- ・鳥のくちばしの「形」「使い方」「えさ」を探すことを確認する。

#### つかむ

- ・はちどりのくちばしの挿絵を提示し、「形」「使い方」「えさ」を読み取る意欲をもつ。

#### 課題

はちどりのくちばしのひみつをよんで、どのじゅんばんでおはなししたらよいかみつつけよう。

#### 読み取る(一人読み→全体交流)

##### 学習場面を音読をする。

- ・はちどりのくちばしの「形」「使い方」「えさ」に○をつけたり、挿絵と言葉をつないだりする。
- ・形→ほそくてながくのびた
- ・使い方→はなのなかにいれます
- ・えさ→はなのみつ
- ・前時までと同様、「形」「問題」「答え」「使い方」「えさ」が書いてある。
- ・ほそながくのびたくちばしのよいところはなんでしょう。
- ・はちどりが花のみつ吸いに来た場面を動作化する。
- ・花の奥の方にあるみつを吸えるところ。
- ・花の中に入れやすいところ。

#### 深める

##### どんなじゅんばんでおはなししたらよいかみつつけよう。

- ・「形」「使い方」「えさ」の順番を変えた文章を提示し、並べ替える。
- ・「形」「問題」「答え」「使い方」「えさ」の順番でお話すると、分かりやすい。

#### まとめる

##### ワークシートにまとめる。

- ・ほそくてながくのびたくちばしです。
- ・これは、はちどりのくちばしですよつ。
- ・これは、はちどりのくちばしです。
- ・はちどりは、ほそながいくちばしを、はなのなかに入れれます。
- ・そして、はなのみつをすいます。

#### 振り返り(きよみずガエル君)

- ・かたち「もんだい」「たえ」「へり」「えさ」のじゅんばんでかくと、わかりやすいくイズをつくる「ん」がでまき。

- ・ワークシートにまとめることで、「形」「問題」「答え」「使い方」「えさ」の文章構成になっていることや、はちどりのくちばしの特徴を確かめる。
- ・クイズをつくる際のアイテムとして、「形」「問題」「答え」「使い方」「えさ」の文章構成で書くと分かりやすいことを加える。

- ・前時までと同様、「形」「使い方」「えさ」が書かれていることを板書で分かりやすく示す。
- ・動作化を通して、くちばしの使い方に合った形になっていることを確かめる。
- ・挿絵などを使って説明するよう助言する。
- ・「形」「問題」「答え」「使い方」「えさ」の文章構成になっていることを確かめる。

- ・前時までの学習を掲示物を使って振り返ることで、本時の学習の見通しをもつことができるようにする。
- ・「形」「使い方」「えさ」を見つけること、絵と言葉をつなぐことを提示する。